

【個人】

提出 令和7年 10月 30日

山 行 報 告 書

提出者 : 小川

山 域・山 名：谷川山系・朝日岳(1,945m)、笠ヶ岳(1,852m)、白毛門(1,720m)	
入 山 日：令和7年 10月 24日 (金) 1泊2日 帰宅：10月25日(土)	
プラン担当者 正： 副：	
参 加 者	し： 報： 記： 小川
	男 1名、女0名、計 1名
最終打合せ 月 日() 雨天中止・順延の連絡 月 日() 時までにメールで連絡 順延：有・無 月 日()	
	
月 日()	行動記録
10月24日	上尾駅 7:02 発⇒10:00 土樽駅 10:13⇒11:08 蓬新道登山口⇒
(金)	14:51 蓬ヒュッテ (宿泊)
10月25日	4:59 蓬ヒュッテ⇒6:52 清水峠⇒9:25 ジャンクション⇒9:44 朝日岳⇒
(土)	11:09 笠ヶ岳⇒11:57 白毛門⇒14:54 土合橋⇒15:05 土合駅
	15:33 土合駅⇒18:24 上尾駅
荒天候時のエスケープルート： 清水峠避難小屋、笠ヶ岳避難小屋	
装 備 と 食 糧	共同装備： 共 同 食： 車提供者：
	個人装備： 個 人 食：昼食1日、行動食2日、飲料水2.0L、非常食、

感想	1 日目：予定通り 10 時に土樽駅に到着し、準備をして出発する。蓬新道登山口までは一般道を歩く。登山道はあまり整備されてなく、倒木などが多く歩きにくい、急登はなく順調に蓬ヒュッテに到着した。ヒュッテには、ビールは愚か水の販売もなく「水が必要な人は、10 分ぐらい下ったところにある、水場で調達してほしい」との説明だった。ホームページには、販売があるような事が書いてあったので、ないなら無いと書いて欲しいものだ。 小屋番の方の説明だと、宿泊する人は馬蹄形をする人がほとんどだが、予約者（本日 24 名）が全員到着するのは珍しいとの事。数名は到着できず、多い日は半分ぐらい来ないそう。馬蹄形を安易に考えて入山すると、大変なことになりそう。 2 日目：朝 4 時に朝食を済ませ、5 時に出発した。暗闇の中をヘッドランプを頼りに進む。空がだんだん明るくなってきたが、昨日の晴天とは違い雲は多めである。湯檜曾川沿いに雲海が広がり、清水峠を越えて新潟県側に流れて行く風景は圧巻だ。清水峠に到着し休憩を取る。ガスで何も見えない。ここから朝日岳まで 500m の登りが続く。ジャンクションピークからの稜線は、雨風共に強くなり、谷側から雨が吹き上げてくる。スマホ操作のために指無しの手袋をしていたのだが、指先の感覚が無くなり、慌てて雨用の手袋に変えた。スマホの操作などをしていられる状況では無くなってきた。朝日岳の山頂に着いた時は、しまったスマホを取り出し撮影をしたが、雨で濡れてしまうのですぐにしまう。笠ヶ岳 白毛門と通過したが、雨が續いていた為 写真撮影はスルーした。今日の稜線歩きは、登山の修行の様だ。白毛門からは下りが続き、樹林帯に入ると雨も風もやんで穏やかになった。さっきまでの風雨がうその様だ。白毛門は急坂が續く為、足のダメージがピークになってきた。通常のコースタイムよりペースを落し無事に土合駅に到着した。晴天の山行と、悪天候の山行を味わった 2 日間でした。
----	--



清水峠方面



朝日岳山頂